

INTERVIEW

インタビュー / 薬学部設置構想について

21世紀の今、金城学院大学の建学の精神を
今日的に具体化していこうというキーワードは「いのち」「こころ」「いやし」です。
2005年に予定する薬学部の設置もやはりそれに沿ったものと思います。
そこで医学博士でもある戸田学長に薬学部設置への思いを伺いました。

金城学院大学学長 戸田 安士

薬学部は
現在の4学部の
キーワードすべてを
統合する学部になります。

薬学部設置は40年以上前にも 検討されたことがあります

私が8年前に本学に着任した時、伝統ある女子大学なのに、なぜ薬学部がないのだろうという素朴な疑問を抱いたことがあります。そこで分かったことは、薬学部設置の構想は今回が初めてではなかったということです。本学で家政学部が設置された1962年より前に薬学部設置の構想が持ち上がり、ある程度、検討されたのですが、種々の事情から日の目を見ないままに終わったそうです。1984年以降の約20年間、全国的に薬学部設置の空白期間があり、私が着任した1996年頃も、その状態が続いていました。

そうした背景とともに、当時本学では四大や短大の改組転換が焦眉の急の課題でしたから、私は着任2年目から、現在でいう新4学部体制の準備に没頭しました。昨年4月、ようやくそ



の実現をみて一息ついたころ、女子大としての本学の将来のためには理系学部を備える必要が痛感され、薬学部構想が浮上したのです。幸い、それが理事会および全学の賛同をえられるところとなり、実現の運びになったのです。

金城学院大学教育の道しるべは「いのち」「こころ」「いやし」です

21世紀を歩む本学の教育目標は、「神を畏れ人に仕える、全人類の癒しの担い手となる女性の育成」です。この場合の「いやし」は、小は個人から大は社会に到るまで、そこに「和らぎ」を創りだすことをいいます。それは、戦争と差別の男性主導の20世紀の反省に立って、あらゆる分野で「和らぎ」を創りだすことを使命とする自立した女性を育てようとする願いです。心・体・魂の統合体としての人間の「いのち」の使い方、それが「使命」にほかなりませんし、他者の「こころ」と「いのち」への働き掛けを使命とする人々の力が合わさって、やがては全人類の「いやし」に到る、その願いが、「いのち」「こころ」「いやし」の言葉に込められています。

これらの言葉は、新4学部体制をどこへ向けて進めたらよいかについて語り合うなかから生まれました。聖書のこころを3つのキーワードに要約すれば、「いのち」「こころ」「いやし」になるのでは、ということです。新4学部体制で生まれた、生活環境学部は「いのち」と「いやし」、人間科学部は「こころ」と「いやし」でしょうか。同様に、既存の文学部、現代文化学部も、それぞれの立場から、この3つのキーワードを活かす教育研究を心がけようということです。

患者の信頼を得ることができる「こころ」を持った薬剤師を育成します

薬学部設置は、キリスト教女子大学としての本学にとって、久しく待たれたチャンスだと考えています。薬学部は、前述の3つのキーワードを統合する、女性に最適の理系分野であるからです。これまでの薬学教育は「薬という物質」を扱う教育だったといわれます。ところが医薬分業が進むと、これまでのように患者との接触は医者にまかせて調剤だけをしてなさいという教育では、薬剤師の役割を果たせなくなります。



たとえば新4学部体制で本学は、管理栄養士を養成する食環境栄養学科をつくりましたが、そこでつよく求められたのは「医療現場で医師と互角にやり合える専門家を育ててほしい」という要請でした。管理栄養士よりはるかに歴史がある薬剤師には当然同じことが言えると思います。医薬分業が進み、患者を前にしたとき、これまでの化学一辺倒の薬学教育を受けてきた薬剤師では、どうしていいかわからないという事態も起こりえます。単に薬の化学方程式や効能が分かるだけでなく、カウンセリングなどの心得をもって患者の「こころ」を大切にしつつ、全体としての「いのち」の「いやし」を実現する、豊かな「こころ」を持った薬剤師が必要なのです。

薬学部の理系の要素が刺激になり、新しい金城文化の誕生も楽しみです

本学はキリスト教女子大学ですから、高い倫理性をもち、人に仕える「こころ」を持った薬剤師の養成が期待されます。また、管理栄養士養成課程を有することから栄養につよい薬剤師教育や、臨床心理学専攻や臨床心理士養成課程があることから人の「こころ」が分かる薬剤師教育など、学内資源をフルに活かした、特色ある新しい薬剤師の養成を目指したいと思います。一方、食環境栄養学科に続き、薬学部という本格的な理系学部ができることで、これまでの金城学院大学の文化がチャレンジを受け、文系と理系双方の特色を融合した、新しい金城文化が芽生えることも楽しみのひとつです。